

『ヘルスヒューマニティーズ：相互回復の実践・教育・研究』刊行記念講座

第4回 ZOOM開催

祈りとホスピタルアート

講師 森 合音 先生

国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター
アートディレクター

NPOアーツプロジェクト 理事長

日時：11月27日(水) 18:10～20:25

私は自分自身の体験から「痛み」のあるところにこそアートが息づくと思っています。病院には日々たくさんの「痛み」が生まれます。これまで当院で導入されて来たのは「作品」という完成されたアートではありません。ホスピタルアートの役割は院内にある「痛み」を想像力と循環によって回復させること。つまり長期的な視点で取り組む問題解決であり医療者も患者もクリエイターも共に対話を通じて知恵を出し合い、有機的で命の宿る「新しい病院」を育てる、終わることのない創造的な取り組みなのです。

※「ヘルスヒューマニティーズ概論II」（科目責任者：井上麻未）の第9回講義をどなたにもご参加いただける公開講座とするものです。

お申し込みフォームには、下記のリンクまたはQRコードよりアクセスしてください。

<https://forms.gle/b3jdZ4wKiwpsNum88>

申込期限：11月23日(土) 参加費：無料

※フォームへアクセスできなかった方はメールにてお問い合わせください。



お問い合わせ：ch.ksy@slcn.ac.jp（糟谷）

主催：聖路加国際大学大学院看護学研究科 射場典子・井上麻未・糟谷知香江

講師紹介

四国こどもとおとなの医療センター アートディレクター
NPOアーツプロジェクト理事長
大阪芸術大学写真学科卒（芸術学士）

主な研究領域：医療現場における芸術活動

主な著作：

『太陽とかべとかげ』（写真集，清流出版，2006）

“Creative Complex Systems”（論文集，共著，Springer，2021）

『扉を開ければ見えてくる新しい病院のかたち—今までになかったあたたかな病院をつくる』
（共著，パレード，2022）

『痛みを希望に変えるコミュニティデザイン』（共著，筑摩書房，2023）

新曜社より2024年9月刊行

木下康仁ほか(編)

『ヘルスヒューマニティーズ： 相互回復の実践・教育・研究』

ケアは一方通行ではない。ケアを受ける人もまたケアを提供する。病いや障害をもつ人とケアする人，双方のウェルビーイングの向上，相互回復を目的として，「医学・看護・介護・教育」と「アート・人文学」を融合する新しい学際領域，ヘルスヒューマニティーズ。その考え方，教育プログラム，幅広い領域の実践を紹介する，本邦初の本。

MORI Aine